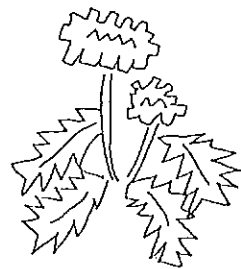




NO 1 0 3
 H 8 年 1 月 1 日
 - 発行 -
 〒869-12
 熊本県菊池郡
 大津町森54-2
 社会福祉法人
 三気の会
 三気の里
 ☎096-293-8100



学会

理事長 田中 稔

十一月一〜三日、岡山での第三十六回日本児童青年精神医学会総会と十二月九〜十日、高松での第二十一回心理リハビリテーション全国大会に出席しました。こうした全国的な学会等へ行けるような時間が取れるようになったのも、この二、三年のことです。

この二つの学会は対照的な学会です。前者は医師を中心とした理論的な内容で後者は学校の先生や現場の指導員等を中心とした実践的な内容との印象を与えます。心理リハビリの方は、親も障害者自身も参加できる極めて珍しいものです。

児童精神医学会では、以前はその大部分が自閉症の発表という大流行という時期もありましたが今は大分落ち着いて、それでも2割程度は自閉症とその関連障害です。

いくつか記憶に残ったものをあげてみます。

早期診断がますます可能になっています。知的、ことばコミュニケーションとともに情動的コミュニケーションの必要性。3歳児の指さし行動とシンボル機能の獲得との相関。自閉症児の課題解決パターンの片寄り。余暇の過ごし方。テンカン発作に対して前頭部の特有波。学習で紙の上で計算ができるのに基石等ではできない。各種療育法での社会適応行動の形成とその般化。高機能自閉症者の幻覚妄想、興奮等の精神症状を呈する一群。保護者教育の大切さ。等。

三気の会では2才児さんから最年長者までお預かりしていますから、ほとんどの発表症例を自分たちの例としてなぞることができま

す。自閉症児者への対応法が着実に積み重ねられていることが実感で

きました。

心理リハビリ(動作法)では早期療育への応用プログラムの確立が急がれます。脳性マヒの方や家族が明るく、積極的に参加されていたのに比べて、自閉症の方の参加者は親の分科会で熊本の二名のみでした。

大学紛争の真つ只中に医学部を卒業した者としては、久しぶりに参加する学会は変わったものに見えました。学会を権位の象徴とみなし、人間医学を掲げて若き血潮をたぎらせた思い出から見ると、今の一回学会に参加すると何点という制度は、それが専門医や認定医の条件となっているだけに、昔の家元制度への逆行のようにも見えます。専門化が進む中で人間が診れない医師が増えないかと危惧します。



気 - げん - こん - こん - のん

▽さびしいときは
 ころのかぜです
 せきして、はなかなで
 やさしくしてたら
 1日でおわる

この詩は原田大助(石川県立錦城養護・高等部)くんの「さびしいときは ころのかぜです」の本の中から引用させて頂いた。飾り気の無い言葉の暖かさに感動し、忙しさに翻弄されている自分を気付かせてくれた本である。そして三気の里の仲間達の笑顔は、元気の源なのだと思います。ださせてくれた本でもある。

▽冬至を迎え、いよいよ真冬に突入といった様相である。今年には十年ぶりの厳しい冬だとか。農作業は、かじかむ手に息を吹き掛けながらの収穫である。きつと美味しい収穫が無人販売所や玄関に並ぶ事だろう。

▽9月に入居した雛鳥達が産卵期を迎えている。拡張工事の予定を無視して、あつと言う間に成鳥になってしまった。いそがなきゃ!



お正月にゆるす

3班 - 忘年会

いよいよ今年も残り少なくなり、あちこちで“忘年会”という言葉を目にするようになりましたが、皆様はいかがお過ごしでしょうか？我が木工班でも12月14日忘年会を行う予定でした。しかし、その頃三気の里では下痢と嘔吐の風邪が大流行！急遽、旅館での忘年会が武蔵うどんでの食事会に変更となりました。その風邪の犠牲者となった、大ちゃんと武ちゃんと博美ちゃんは無条件で山かけうどん。それをよそに、自分の好きなものを頼んでいる修ちゃん・順ちゃん・剛くん。最後まで何にしようか迷っていた久美加ちゃん。ようやく全員の注文が終わった時には、すでに1時をとうに過ぎていました。一番に来たのは誠ちゃんでした。その後続々とみんなの料理も出てきて、待ってましたとばかりに食べ始めていた一君に真一郎に雄ちゃんにミドリさん。最後に来た鍋焼きうどんをたのんだ友ちゃん・稔君・昭子さんは熱い鍋焼きうどんをフーフーしながら食べていました。それを横目で、すでに食べてしまってまだ欲しそうに見ている哲ちゃんに憲ちゃん。豪華な料理とまではいかなかったけど、皆それぞれ満足していたようです。その中でも一番喜んでしたのは、うどんが大好きな新ちゃんじゃなかったかな？

今度の1月の新年会の時には豪華に皆で盛り上がりましょうね！

※ 12月20日博美ちゃんのおうちの紹介でみかん狩りに行きました。

平野さんありがとうございました。

石井

4班 - いそがしい師走

いよいよ今年も押し迫ってきました。毎年ながら、何かやり残した事はないかと気持ちだけが焦り気味です。さて、今年を振り返ると世間では大震災・オウムの事と嫌な事件が続いた一年でしたが、“4班”というと、新しいメンバーも加わり増々にぎやかになった事（毎日笑いが絶えません）、今年には宿泊訓練で四国まで行けた事、新しい作業小屋が一年がかりでようやく完成した事（砂野さん及び他職員に感謝！です）等、嬉しいことが沢山ありました。中でも嬉しかったのが、先日、くも膜下出血で倒れた有働さんが、今ではすっかり元気になり、作業ができるまでに回復した事です。外での作業はまだ無理ですが、作業棟にてひも伸ばし作業を一人もくもくと頑張ってくれています。元気な姿、嬉しい限りです。

来年も皆元気で（健康が一番！）いろいろなことにチャレンジしていきたいなあとと思います。頑張ろうね、みんな。

“笑う門には福きたる” 来年も笑顔で楽しい一年を過ごしましょう。

山中

5班 働 - 遊 - 休

今年も残すところ後わずかとなり、一年を振り返ったり来年の計画をたてたりする時期になりました。今年、園芸班には新しい専用倉庫が出来上がり、道具類も随分片付くようになりましたし、キウイ棚等も出来て夏場涼しく過ごせるようになりました。また、全国大会へ向けて手間暇かけて育てていた肥後椀の出荷も終わり「ホッ。」と一息ついたところです。何だかんだと言いながらも忙しさに負けず、みんな良く頑張ってくれた1年だったように思います。そんな園芸班、現在は冬場と雨に備えてガラス温室を建設中ですし、環境整備の1つとしてみんなにゆっくり過ごしてもらえるようにと藤棚の建設も控えています。9月末に新メンバーが加わり13名となった園芸班ですが、まだまだのんびりと休む暇は無さそうです。

新しい年を迎えるにあたり、何よりも健康に気をつけてチームワーク良く頑張って欲しいと願っています。良く働き良く遊び良く休む、そんな1年にしたいものです。

東

1 班 - フルコース

12月に入ると申し合わせた様に風邪が流行った。「次回に持ち越そうか。」との話もあがった中何とか体調も回復し、長陽村にあるペンションへと“食事会”に出掛けた。昼食だというのに豪華にフルコースを食べる。サラダ、スープ、前菜と次々に休む間もなく空にしていく英ちゃん、勝ちちゃん、ヒデちゃん、俊ちゃん。のんびり味わって食べ進む建ちゃん。ゆかりさんは「おいしいです。」と言っては声を立てて笑う。好き嫌いの結構多い憲ちゃんも、野菜、魚介類などほぼ残さず食べていた。手慣れた様子でナイフとフォークを扱っていたのは亮くん。「さあ、写真を。」と構えたが、残念ながら左右が逆転。それからパンブキンスープ事件。亮くんはとても楽しみにしていたらしい。(と思う。)メインのステーキの横にご飯がついてくると嬉しそうにスープをかけ始めた。どうするかと皆で見守る中パクリと一口。とたん「ん?!」といった不思議な表情をする。「ほら、やっぱりカレーと(色で)思ったんだよ。」と平川指導員。な、なるほどと頷きながら大爆笑。大笑いの中亮くんは、諦め顔で後はスープのみをすすする。そんな仕草までもがとてもおかしい。

「笑う門には福来る」諺どおり、今度の福の神は亮くんかなあ・・・?

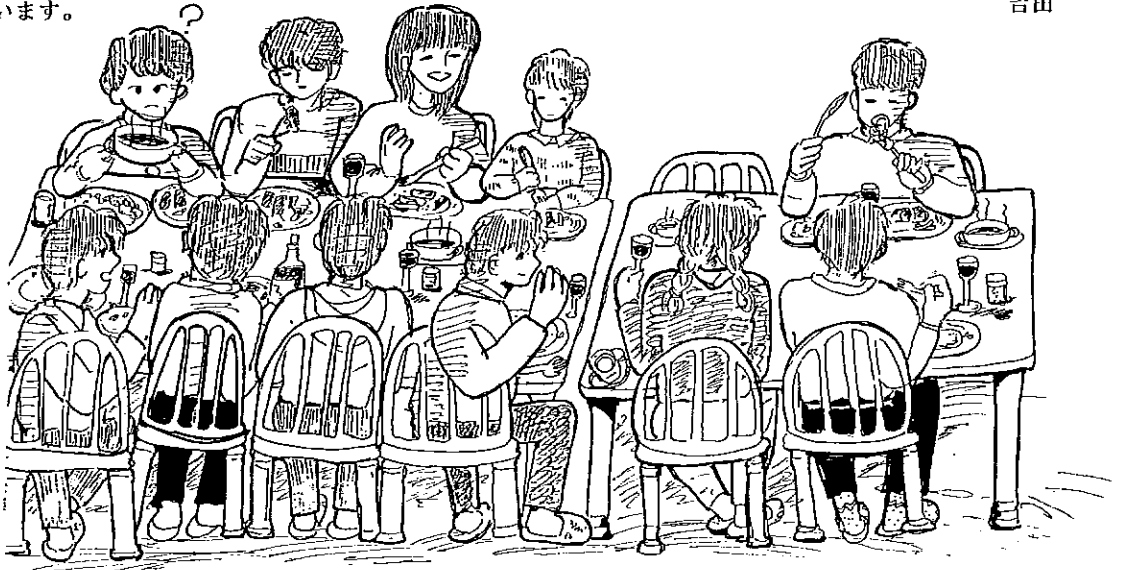
最後に、急なキャンセルにも快く応じて頂いたペンションマルベリーの皆様、おいしい料理と温かい温泉、本当にありがとうございました!!

坂本

2 班 - 96年土俵入り

今年もあとわずかとなりました。ネット班では、みんなが頑張ってくれたお陰で保護者の方も御招待で忘年会を開くことが出来ました。場所は“相撲茶屋大地”。水槽のトンネルをくぐると、高い天井に広い食堂。中央に土俵があり、その上に立つ大きな力士の裏方で料理をつくる人が働いている不思議な光景を横目に3階のお座敷へ。さっそくみんなでちゃんこ鍋を食べ始めました。入院していたあっこさん、自宅療養中の龍ちゃんもかけつけて来てくれ、全員そろっての楽しい忘年会になりました。鍋をかこんでいろいろな話に花が咲いていました。振り返ってみると、蒸し暑い中汗をかきかき作業を頑張った事、宿泊レクで志賀の島へ行った事などが頭に浮かんで、たくさんの楽しい思い出の詰まった95年もあつという間に終わりだなと思いました。来年は一体どんな年になるのでしょうか? お正月にのんびり過ごして力を蓄えて、みんなの笑顔が一杯見られるような年になればいいなあと思います。

吉田



療育シリーズ

今日を生きる

園長 土井 尚典

心臓に障害のある園生のケースについて、ケース会議を開いた。

出席者は、保護者・福祉事務所・施設職員の構成であった。テーマは「心臓の障害については医師は手術をした方がよいと言っているが、保護者は悩んでいる。担当は園生及び保護者にどう援助してよいか悩んでいるので、それぞれの立場から考えて見る」ということである。

保護者は、本人が小さいころから早く手術ができるように医師にお願いしていたが手術が行われず、今回担当医が代わり、その医師に手術を勧められた。そして手術をしないと近い将来に心配な事態が起きるといわれた。しかし保護者は、手術そのものに対する不安や手術をお願いしなすと言ってきたのに、今更という割り切れなさを感じているようである。

看護士からはもし手術をすればしたら、その手術の概略や安全性について、調べて来て報告があった。そして、心臓外科の最近の進

歩や手術をしない場合の危険性や手術の確率についても、一般論であるが意見が述べられた。また、付き添い体制について、保護者に過剰に負担がかからないように考慮した方法が可能であると報告があった。

施設処遇の立場から、手術をしない場合で悪化した場合は医療的ケアのできる施設を今から検討しておかなければならないという意見が出た。

担当指導員からは、本人の全般的な能力や心臓病を考慮した指導方針が述べられた。私見として、担当と同じ21才であり、いろんなことをしたい年ごろである。ショッピングをして、食事をして、いい洋服も着て見たいだろうし、いろんなところにも行きたいだろう。走ったり跳びはねたりもしたいだろうと思う。手術をしてそんなことができないものかなとおもうと述べられた。

ある職員からは素朴な意見として、医師が手術が望ましいと言っているのに、どうして手術に踏み切れないのか、保護者に手術に踏み切れない理由を教えてほしいと言いう意見が述べられた。

福祉事務所の方に意見が求められ、医療費等については保護者に負担がかからないことが説明された。また心臓病であるから、施設は万が一の事故にも備えなければならぬとのことであった。

以上が会議の概略である。この場で決めなくてはいけないという事ではなく、保護者の思いや職員の思いを交換することであった。

本人が自分の病気を考え、決心することができればいいことですが、それは望めません。本人に代わってだれかが考え、決心し、責任を負わなくてはならない。その重みを保護者だけが背負って行くのは重すぎるように思います。

職員は園生に良かれと思って、一生懸命話します。しかし、保護者にも、今日までのプロセスがあります。決して平たんではありません。時には「自分より早く死んで欲しいと願ったかも知れません」本当のことは分かりません。でも障害者を家族として、今日まで生きて来ています。そのすごさを認めなければなりません。「今日を生き、また明日、今日を生きる」そんな生活だったかも知れません。三気の里で出会えた園生には、

「明日のために、今日を生きる」チャンスがあっても良いように思っています。

心理リハビリテーション全国大会

山口 裕之

去る、12月9日と10日の2日にかけて、第21回心理リハビリテーション全国大会が心理リハビリテーションの会・日本リハビリテーション心理学会主催のもと、香川県のマツノイパレスで開催されました。

内容としては、1日目の午前は講演、体験発表が行われ午後からは、各部屋に分かれ動作訓練の公開指導が行われました。2日目は分科会が行われ、2日とも話してと聞き手と一緒に考えて、話し合い教え合う場も用意されていて、大変充実した2日間でした。このような大会により多く参加することによって施設を利用していただく方々のお役に少しでも立てればと考えています。



一年を振り返って

成人式、卒業、就職と慌ただしく過ぎていった95年。来年はしっかりと目標をもって1歩ずつ進んでいきたいと思っています。佐藤



1年を振り返り、初めて経験することはばかりで驚きと感動の連続でした。また来年も頑張りたと思います。山口



何もとりえがない私でしたが、長靴・ジャージ姿は人一倍似合うという事に気付きました。来年も変わらず頑張ります。麻生



みんなと接していく中で反省すべき事だらけで、自分を見つめ直す機会の多い1年でした。来年はもう少しゆとりをもって頑張りようと思います。古田



「押しもたためなら引いてみな」今年はたくさんの園生と仲良しになれ、あっと言う間の1年でした。



今年木工班に新入園生が入り、定員一杯となりました。

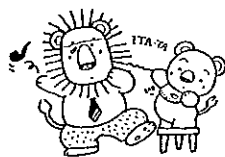
早くみんなに追いつき来年も頑張りよう。田之上



いろいろな面で一歩前進した1年でした。来年も前進出来る様頑張りよう！食堂の飾り付けも楽しかったなあ。今村



今年厄入りをし、看護師という職業柄仕事がないほうが良いのだが、忙しく年の瀬を迎えた。来年はのんびり仕事が出来ることを祈る。皆のために。田邊



季節を通して「収穫の喜び」を味わえた1年でした。至らない指導についてきてくれたみんな、ありがとう。國岡



今年からネット班となり、新しいスタートの年でした。目標は健康第一で来年も頑張りようと思えます。吉田



年だけは確実に一つだけとったが、中身は三カ月くらいしか進歩していない気がする。それ程短く思った1年でした。高田



今年は何となく、時間に追われる感じの1年でした。来年は追われるのではなく何事にも「挑戦」の姿勢で頑張りたい。石井



「マイペース」の1年でした。猪突猛進は私には難しいようでしたが、来年は風のように細かい気配りの出来る年にしたいです。松下



今まで病気、ケガには全く縁のなかった私が23年目にして初めて入院を経験した。健康が一番と言うことを痛感した年だった。石丸



今年、心に風邪をひかせなかつたろうか、一人自問しています。来年も元気で走り回る予定です。坂井



「三気の里」の敷地内に、中央競馬馬主社会福祉財団より助成を受け地域交流ホーム(333.32平方メートル体育館)を完成させ、地域の方々と、研修生の宿泊等に利用させていただいていることと、心を痛めたことは、法人施設時よりご指導を頂いた、河北先生がご逝去なられたことです。また後援会や保護者会及び社会福祉関係各位に大変お世話になりました。来年も「のん気」「こん気」「げん気」を合言葉に頑張ります。事務長 末永



一年を

振り返って



4月から午前中の作業に各班に加わるようになりました。園生にかかわる分、色々なことが経験出来た年でした。



日置

慌ただしさを感じた1年でした。今年、ゆとりをもって1日1日を大切にしていきたいと思えます。頑張るぞ！



金丸

今年、山で遭難しそうになった。作業小屋が下段畑に完成した。(砂野さん様様だ。)来年もみんなと一緒に頑張って汗を流そう。



木下

今年、山で遭難しそうになった。濃い霧の中必死になって、手探りで前に進み、何度も同じ場所に出た。その様は私の人生に酷似している。

坂本

今年、かわいい後輩も加わり、よい励みになりました。来年も食事の時間を楽しみにされるような調理献立、頑張ります。



村上

今年、体調を崩し、優れない年でした。やはり健康第一です。来年は健康で楽しい年でありたいように。



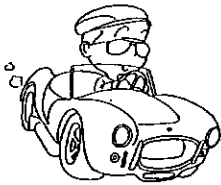
満原

あつと言う間でしたが、三気の里で楽しく過ごすことが出来、嬉しく思っています。これからもよろしくお願いします。



畑田

7年度は三気の里では1歩も2歩も前進しました。ミニ体育館と研習棟の完成、園生も75名になりともに大変充実した年でした。



砂野

私は4月から非常勤として来ていますが、色々初めたことが多く、得たものがたくさんあった1年でした。



椎場

三気の里で働き始めた今年、忙しいながらも充実した年でした。来年も充実した年にしたいと思っています。



山本

去年の定員増による新入園生も落ち着き、やっと本来の三気の里らしくなってきました。職員の間にも感謝です。



土井

今年もあつと言う間に過ぎた1年でした。健康に気をつけながら来年も頑張りたいと思います。



前田

1年が慌ただしく過ぎ、色々なことがありました。皆に教えたけれど：ひ・み・つ：。来年はもっと自分にゆとりを持って過ごしたいものです。

有働

仕事では、80名の膨大さに慣れてきた。私事では、趣味が一つの形となり、歩きだし人の輪が広がった1年。



多田

もう少し、ゆっくり年が過ぎてくれば：と思う今日この頃。来年もマイペースで元気に頑張りたいと思います。



山中

永年動作法を教えて頂いてきた山本先生が亡くなられた。先生が頑張ってきたことを大切にしていきたい。



高橋

今年、三気の里に就職してあつと言う間の1年間でした。来年はもっといろんなことを学んで頑張りたいです。



上村

社会福祉を親近に感じ、さらに視野の広がった1年でした。福嶋



パッキン班が独立。2回も転覆しそうになったパッキン丸にもようやくよい風が吹き、96年へと、ひた走っています。

平川



5月に次男が生まれ我家もまた少し賑やかになりました。体に気をつけて来年も1年頑張りたと思います。

東 順不同



食堂営業中

今回は厨房の失敗談です。ある日の夕食のメニューは、キノコ御飯でした。昼からきのこと鶏肉を煮込み、米は1時間前からスイッチを入れて準備万端。あとは味を整えればOKと思ったときです。

「15分前なのに御飯が出来ていない！」再度挑戦しても炊き上がりませんでした。ドアの向こうにはイライラした園生がいます。結局、釜の故障で別の釜で炊くことが出来たのですが、食事開始は6時20分を越えていました。遅れたので

味には少々自信がなかったのですが、沢山の園生がおかわりに来てくれた時はほっとしました。前田 栄養の話

風邪にはミカンがいいと昔から言われています。それは、ミカンに多いビタミンCには、抗ウイルス作用があるからです。

つまり、血中ビタミンC濃度が高いとウイルスをやっつける白血球とか、マクロファージと呼ばれる食細胞(ばい菌を食べる細胞)が元気になる、ウイルスに強くなるというわけです。1日にミカン2個を食べれば、必要ビタミン量50ミリグラムとれるので、ミカンを食べ、風邪を吹き飛ばしましょう。

村上



九州・山口自閉症児者施設連絡協議会

木下 昭二

12月7、8日の両日、九州・山口自閉症児者施設連絡協議会が開催され、初日はまず三気の家施設見学及び指導技法の見学が行われ、幼少児に対しての療育実践の

場ということで、参加された方々の関心の高さを感じました。午後からは会場をエアポートホテル熊本に移して、分科会と指導技法部会が行われ、分科会では会員施設より食事指導、あるいは問題行動や作業指導、生活指導そして三気の里からは田之上指導員により、クラブ活動の事例発表が行われ、テーマ毎に活発な意見交換がなされました。平行して行った指導技法部会では、動作法の一部分を園長の講義や高橋指導員、山口指導員、木下をして愛育学園の工藤先生の実技援助で、参加者同志で体を触れ合いながら体験してもらいました。2日目は三気の里のクラブ活動(スポーツ・音楽・学習【動作法の実践】)と作業指導場面の見学で、それぞれに興味深く質問があっていました。関係者の皆様、参加協力ありがとうございました。

次回開催での再開を楽しみにしています。

九州IEP研究会

田邊 剛政

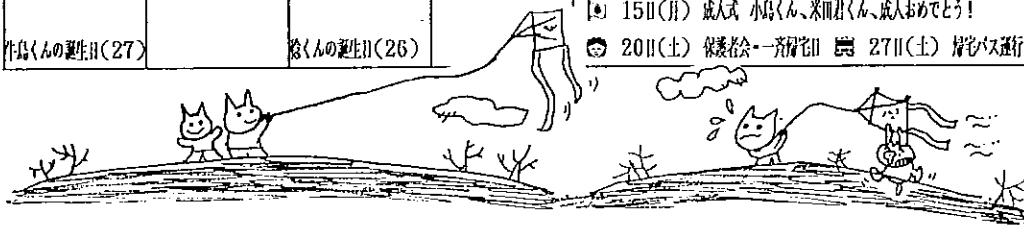
去る12月3日、4日に三気の里に於いて九州IEP研究会が行われた。(IEPとはIndividualized Education Programの略で個別教育計画の事である。)この研究会は会員制の勉強会で4年間に20名程度の会員で始まり、現在は40名ほどに増えた。

会員は教諭、医師、指導員、心理判定員、言語療法士、作業療法士等多岐に渡り各々が各職場で実践したことを年に3回集まり報告したり、討論したりしてきた。今回は、者の施設である当園で行われ、安田生命社会事業団子ども療育相談センターの安倍陽子先生をお招きし、22名が参加してスケジュールの提示の仕方について討論した。先の見通しが立たずに混乱したり、早送りしたり、変更が効かずに混乱したりする園生について色々な意見やアドバイスを頂き三気の里にとって有意義な勉強会であった。



1 月 の 行 事 予 定

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 備 考 |
|--------------------|------------------------|-------------------|----|---|---------------|---------------------|-----|
| | 1 祝日 | 2 | 3 | 4 冬期訓練終了 | 5 | 6 | |
| 7 | 8 | 9 賀文くんの誕生日(24) | 10 | 11 | 12 | 13 IEP研究会(14日まで) | |
| 14 | 15 成人式 光起くんの誕生日(24) | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 保護者会-帰省日 | |
| 21 | 22 念どんどや | 23 | 24 | 25 | 26 タンポポ編集日 | 27 帰省バス | |
| 28 作島くんの誕生日(27) | 29 | 30 悠くんの誕生日(26) | 31 | ◎ 賀文くん、光起くん、牛島くん、悠くん、お誕生日おめでとう！ ◎ 15日(月) 成人式 小島くん、米田君くん、成人おめでとう！ ◎ 20日(土) 保護者会-斉帰省日 ◎ 27日(土) 帰省バス運行 | | | |



ボランティア通信

早いもので今年もあと数日となつてしまいました。ボランティアの皆さんにとってどんな一年だったのでしょうか。

今年一年、ブラッシング指導・生け花・散髪・行事にと、毎回沢山のボランティアの方々が来て下さいました。お忙しい中、時間を作ってボランティアに来て下さった皆様に感謝致します。

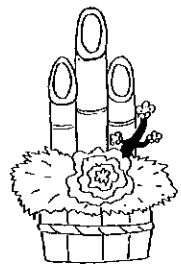
また、来年もボランティアの方が遊びに来て下さる事を、三気の里の皆が楽しみに待っていますので、どうぞ宜しくお願いします。

佐藤

（ボランティアありがとう）

- ☆散髪 松尾博美 清田純一
- ☆ブラッシング指導 森隆子
- ☆生け花 西村栄子
- お詫び

先月号で散髪ボランティアの泉美智代さんの名前が記載されていませんでした。申し訳ありませんでした。



後援協会入会

ありがとうございます

天津政博 篠崎久五
小屋野ミチ子 本田シゲミ
平成七年十二月二十日付け

※敬称略

◆後援協会さんより

本年中は大変お世話になりました。たくさんのご支援と共に暖かいお言葉などもいただき、皆様を身近に感じることのできた一年ではなかったかと思えます。

私たちは色々な方々に支えられていることに感謝し、新しい年も精一杯頑張ります。

（追伸）

ご住所等の間違えや転居などがございましたらお知らせください。



編集後記

『師走』という言葉に心を急ぎ立てられながらも、平穩無事に年の瀬を迎えようとしています。

今年もたんぼぼをご愛読して頂き、誠にありがとうございます。来年も皆さんの応援を励みに、編集員一同頑張ります。

麻生